

令和3年度あんしんケアセンター事業評価について(国指標)

【国の指標】

1 事業評価結果(令和3年度実施)

国が策定した全国統一の評価指標により、各あんしんケアセンターの業務の実施状況を把握した。事業評価結果は、以下のとおりである。

なお、評価にあたっては、一部を除き、令和2年度の取組みを対象とした。

(1) 市町村指標(資料2-2-①)

(単位 %)

項目		令和3年度	【参考】令和2年度	
		市	市	全国
組織・ 運営体制等	①組織・運営体制	92.3	92.3	74.7
	②個人情報の管理	100.0	100.0	86.8
	③利用者満足度の向上	100.0	100.0	84.5
個別業務	①総合相談支援	100.0	100.0	83.8
	②権利擁護	100.0	100.0	85.9
	③包括的・継続的ケアマネジメント支援	100.0	66.7	66.9
	④地域ケア会議	84.6	84.6	66.8
	⑤介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	100.0	100.0	64.8
事業間連携(社会保障充実分)		100.0	100.0	88.4

(2) センター指標(資料2-2-②)

(単位 %)

項目		令和3年度	【参考】令和2年度	
		市	市	全国
組織・ 運営体制等	①組織・運営体制	97.0	96.4	81.8
	②個人情報の管理	100.0	100.0	83.2
	③利用者満足度の向上	100.0	100.0	95.1
個別業務	①総合相談支援	100.0	99.4	90.8
	②権利擁護	100.0	96.4	89.2
	③包括的・継続的ケアマネジメント支援	95.8	95.8	80.9
	④地域ケア会議	83.3	98.4	82.5
	⑤介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	97.9	99.3	79.5
事業間連携(社会保障充実分)		95.0	97.9	89.3

2 昨年度との比較

(1) 改善された主な項目

ア 介護支援専門員に対する効果的な相談対応（資料2-2-①）

市町村指標	Q54 各センターが介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。		
	評価結果	R3	○
	R2	×	

イ 成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準（資料2-2-②）

センター指標	Q36 成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準が、市町村から共有されているか。				
	評価結果		「○」のセンター数	「×」のセンター数	(改善した理由) 令和2年度の管理者会議において、市長申し立てに関する判断基準について、あんしんケアセンターに対し情報提供を行い、共有を図ったため。
	R3	28 (全センター)	なし		
R2	24	4			

ウ 認知症初期集中支援チームとの情報共有（資料2-2-②）

センター指標	Q66 認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。				
	評価結果		「○」のセンター数	「×」のセンター数	(改善した理由) 令和2年度から、新たに美浜区にチームが設置され、随時、対象者に関する情報共有を行っているため。
	R3	28 (全センター)	なし		
R2	25	3			

(2) 引き続き対応が必要となる主な項目

ア 地域ケア会議（資料2-2-②）

センター指標	Q 4 9 センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。				
	評価結果		「○」の センター数	「×」の センター数	(R 3が「×」の理由) 新型コロナウイルスの影響で、地域ケア会議の開催の見通しが立たなかったため。
		R 3	2 0	8	
		R 2	2 7	1	

センター指標	Q 5 0 センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。				
	評価結果		「○」の センター数	「×」の センター数	(R 3が「×」の理由) 新型コロナウイルスの感染拡大防止により、個別の地域ケア会議は開催を見合わせたセンターがあったため。
		R 3	2 4	4	
		R 2	2 7	1	

センター指標	Q 5 1 センター主催の地域ケア会議において、個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域課題に関して検討しているか。				
	評価結果		「○」の センター数	「×」の センター数	(R 3が「×」の理由) 新型コロナウイルスの感染拡大防止により、緊急性の高い地域ケア会議以外は開催を見合わせたセンターがあったため。
		R 3	1 4	1 4	
		R 2	2 6	2	

センター指標	Q 5 3 センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。				
	評価結果		「○」の センター数	「×」の センター数	(R 3が「×」の理由) 5センター中4件は「Q 5 0」で「×」のため、本設問でも「×」となった。 残り1件は、会議の内容が自立支援・重度化防止と言い難いとセンターが判断したため、「×」とした。
		R 3	2 3	5	
R 2	2 8 (全センター)	なし			

センター指標	Q 5 5 センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。				
	評価結果		「○」の センター数	「×」の センター数	(R 3が「×」の理由) 新型コロナウイルスの感染拡大防止により、個別事例を含む全ての地域ケア会議について、開催を見合わせたセンターがあったため。
		R 3	2 6	2	
R 2	2 8 (全センター)	なし			

センター指標	Q 5 6 地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。				
	評価結果		「○」の センター数	「×」の センター数	(R 3が「×」の理由) 5センター中4件は「Q 5 0」で「×」のため、本設問も「×」となった。 残り1件は、他機関につながり、モニタリングを要しない状況とセンターが判断したため、「×」となった。
		R 3	2 3	5	
R 2	2 8 (全センター)	なし			

(今後の対応)

令和2年度後半にかけて、オンラインを活用した会議の開催が広がった。

今後は、オンライン開催に不慣れなあんしんケアセンターに対して必要な支援を行い、感染症の動向に関わらず必要な会議が開催できるよう体制を整えていく。

イ 介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会の開催計画の策定及び周知など

(資料 2-2-②)

センター指標	Q 4 3 介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に、指定居宅介護支援事業所に示しているか。				
	評価結果		「○」の センター数	「×」の センター数	(R 3が「×」の理由) 新型コロナウイルスの影響で、開催 計画の見通しが立たなかったため。
		R 3	2 5	3	
		R 2	2 2	6	

センター指標	Q 4 5 担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者（例：医療機関や地域における様々な社会資源など）との意見交換の場を設けているか				
	評価結果		「○」の センター数	「×」の センター数	(R 3が「×」の理由) 新型コロナウイルスの感染拡大防止 のため、緊急性の高い意見交換は開催 を見合わせたセンターがあったため。
		R 3	2 4	4	
		R 2	2 8 (全センター)	なし	

(今後の対応)

オンライン会議の活用など、他のセンターでの事例などをあんしんケアセンターに情報提供することで、感染症の動向に関わらず研修計画の提示や、関係機関との意見交換が実施できる体制づくりを整えていく。

(3) その他

ア 3職種の配置 (資料 2-2-②)

センター指標	Q 1 6 3職種 (それぞれの職種の準ずる者は含まない) について、必要数を配置しているか。				
	評価結果		「○」の センター数	「×」の センター数	(R 3が「×」の理由) 令和元年度から国評価指標が改定 され、職種の準ずる者が配置数に含 まれない取扱いとなり、保健師に準 ずる者として看護師を配置している センターが該当しないこととなった ため。
		R 3	1 8	1 0	
		R 2	1 6	1 2	